



# 幸樹

こう じゅ

## 第95号

2023年2月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785  
あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559  
あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558  
ケアステーションゆず ☎047-701-5506  
看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331  
幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



「Colocasia esculenta (BLACK MAGIC)」

サトイモ属 サトイモ科

コロカシア ブラックマジック

画 高橋聖大

# 渡辺修先生に お聞きしました

からたち薬局では、三和病院の患者さんの処方箋を多く受けています。

昨年の幸樹第82号では、鼎会（三和病院・八柱三和クリニック）理事長 齋藤丈夫先生（内科）にお話を伺いました。「薬剤師との情報共有でより良い薬物治療を」と、連携を深めようとリーフレット活用の提案をいただき、実践してきました。医師の処方意図を的確につかめるようになってきているのでしょうか。患者さんの薬物治療に貢献できているのでしょうか。今回は三和病院 院長・鼎会副理事長の渡辺修先生にお話を伺いました。渡辺先生の専門は乳腺外科です。

（聞き手 からたち薬局管理薬剤師 松下泰樹）



この1年からたち薬局は、処方箋受付枚数が大きく伸びています。医薬連携が進んだことなども要因に挙げられると思いますが、実際に医薬連携がうまくいっているか、また先生の方針の特徴を正確につかんで患者さんにお薬の提供ができているかなどもお話できたらと思っています。先生の専門は乳腺外科ということで、からたち薬局も乳腺外科の処方箋を多く受けています。患者さんが増えているように感じますが、いかがですか？

そうですね。患者さんは増えています。

ありがたいことに、特に宣伝をしなくても口コミで来てくれる方が多いです。受付時に「初診動機」を聞くのですが、「知人・友人の勧め」という方が圧倒的に多いですね。三和病院は50床という小規模な病院で、駅から少し距離があり、目立たない病院ではあるのですが、患者さんが知人に勧められると

いうことが大きな力になっています。私としては何より嬉しいことです。患者さんが増えると、忙しくなって大変では？と思うかもしれませんが、説明の時間をきちんととるようにし、患者さんが納得する治療法を選べるようにしています。私は美容的なことと根治性を両立させることを基本姿勢としています。患者さんのニーズに合った治療を選び、患者さんが納得したうえで専門医による手術が受けられるというのが特徴だと思います。美容的なことも重視しているという点でいえば、手術痕ひとつとっても、患者さんにとっては大きなことなので、なるべくきれいに丁寧にと心がけています。また、乳房全摘した方の半数が乳房再建をしています。乳房再建率というのは全国平均では10%程度ですが、千葉県でも40%を超えているところは少ないと思います。50%を超えているところはまずないのですが、三和病院は形成外科医と連携して頑張っています。

乳房再建は年齢関係なく女性のニーズとしてあることです。例えば温泉や社交ダンスなどの社会参加の場などで、女性が自分らしく生活を送れるような治療方針を立てています。年間の手術総件数も開院時250件ほどでしたが、昨年は400件を超えました。

とはいえ、手術だけが治療ではありませんので、薬物治療も大切です。そこは近くに信頼できる薬局があるということも重要です。乳癌になったということは、患者さんひとり一人にとってはとても大きなことで、不安を抱えている方もたくさんいます。病院でもスタッフが話を聞くようにしていますが、薬局でも話を聞いてもらえると、より安心して治療を受けてもらえるのではないかと思います。薬局ではどのようにしていますか？

からたち薬局でも患者さんのお話をよく聞くようにしています。場合によっては1時間近くお話をしていく方もいらっしゃる。「病院では聞けなかった。言えなかった。」と話していく方もいます。特に薬の事に関して副作用等をご心配されている方もいるのでできるだけ丁寧に、女性薬剤師も多く在籍している特徴を生かして話やすい環境での対応をしています。薬剤師として医師に報告した方がよいと思われることに関しては「服薬情報提供書」などで連携していきたいと思っています。

それはありがたいですね。患者さんのニーズをくみ取れる、一緒に治療に参加し、患者さんのことを考えてくれる専門家が多い方が、患者さんにとっては心強い環境となるでしょう。これからも医薬連携でいきましょう。



## 看多機さんしょうの見学研修の感想

千葉健愛会あおぞら診療所で在宅医療研修をされている研修医の方が、さんしょうを見学研修をされ、感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

### 看多機の役割が今後大きくなることを予想

#### 基盤が整うことが望まれる

あおぞら診療所研修医

虎の門レジデント 岸岡 歩

本日は、ケアマネージャーによる看護小規模多機能型居宅介護のご説明、事業所の見学、理学療法の実際、訪問看護、訪問介護と、多職種に渡り多くのことを勉強させていただきました。さんしょうでは、かかりつけ医を変えることなく、また事業所への通所、宿泊、ご家庭への訪問を同じスタッフが行っているからこそ、柔軟な対応が可能となり、患者さんやご家族の安心に繋がっていると感じました。今後、看護小規模多機能型居宅介護の役割が益々大きくなることが予想されます。現在さんしょうで実現されているように、医療を必要とする方が安心して住み慣れた地域で生活を続けられるよう、全国で基盤が整うことが望まれます。

## 介護のこころ

ケアステーションゆず  
介護士 井上由美

### 待っている利用者さんがいるから

幸樹会に入職し間もなく二年が過ぎようとしています。自分のふがいなさに腹を立てたり情けなくなったりとの連続です。それでも続けていられるのは待ってくれている利用者さんがいてくれるからだと感じています。

一昨年札幌在住だった父を亡くしました。晩年認知症を患い、本来の自分を失っていく恐怖と闘っていた父でした。定期的に父を訪れ、手をつないで買い物に行ったり、映画を観に行ったりを当たり前に出れていた、本当にそれが当たり前でしたが・・・。「してあげたい事」がまだまだたくさんあったのに。

出来ないままになってしまったせいでしょうか、利用者さんと接する時、父と重なり温かい気持ちになります。ほんの小さなことに喜んでいただき、声をかけて下さると父にしてあげられなかった事が出来ているような気分になり、感謝の気持ちでいっぱいになります。

まだまだ介護職員としては未熟で学ぶことも多く、ご迷惑をかけることも多いかと思いますが、父が私を叱ってくれたようにどうぞ叱咤激励 よろしくお願いたします。



## デンマーク便り...⑬

ラスムッセン 京子

前回、新政府の方針を途中まで（減税と雇用促進）記載しました。続きです。

「2045年までに気候変動に影響を与えない」

**農業への気候税負担・航空機利用に対して旅客税導入**  
農業にどれだけの気候変動税が課されるか明らかにされていませんが、これはグリーン税制改革に関する有識者会議が結論を出すまで、新政府は案を示さない方針です。新政権は航空税と農業へ炭素税導入を希望しており、炭素税は産業の競争力を低下させないこと、雇用を全体的に国外に移転させないことが条件になり、その税収は農業に直接還元され、産業のグリーン化を支援するために使われなければなりません。気候変動枠は2030年までに農林業からの排出量を1990年〜比で55〜65%削減することに貢献する必要があります。航空機の利用に対しては平均100DKKの旅客税を導入し、この資金は空港および周辺地域の対策、国内線グリーンルートの資金調達、年金チェック強化などに使用される予定としています。

#### 2045年までに気候変動に影響を与えない

政府は2030年までにCO2排出量を70%削減する目標を達成したいと考え、さらに欧州全体で2050年を目標期限としている気候ニュートラルを2045年に前倒しで達成するようにし、2050年までにCO2排出量を1990年比で110%削減するという新たな目標を設定しています。新たにNEKSTという名称で国家エネルギー危機対策チームを立ち上げることになり、太陽光と風力エネルギーの拡大を加速できるような行動を確保します。

#### Vejle Fjordを横断する鉄道構想を断念。

Vejle Fjordを横切る列車の連結を取りやめることを決定し、これにより解放された約60億クローネを子どもたちの状況や気候の改善などに利用できる基金に充てられる予定としています。

#### 待機児童解消のための緊急パッケージ・医療サービスの再編成、

##### ・児童青少年窮乏化に関する研究

「子ども・若者育成好事例委員会」を設置する予定で、子どもや若者の剥奪を防ぐ方法について提言を行う予定です。

その他、2033年までに防衛費をGDPの2%にすることが合意され、そのための財源として2024年から祝日を廃止することが提案されるなど、新たな新政府の方針が出されています。



## うんどう部報告!

### 4年ぶりに開催された松戸の正月の風物詩 七草マラソン

前回の幸樹でもお知らせした通り、今回『幸樹会うんどう部』として総勢7名(プラス、ファミリー組)と久々の大所帯で参加してきました。

私は、長男の所属するラグビースクールが今回スクールとして参加したので、引率などもあり8時頃には現地に到着し、子どもたちと一緒にアップなどをして体を温めていました。広場ではすでに食べ物の屋台なども出ており、お祭り気分が盛り上がります。その後、続々と、幸樹会うんどう部のメンバーも集まり、せっかくなので、皆で記念撮影をして気分を盛り上げました。天気も、晴れて風もなく暖かく、寒いのが苦手な私にはこの時期としては絶好のコンディションです。

そうこうしている間に5kmの部の整列時間になり、すぐに自分たちの走る10kmの部の招集も掛かったため、競技場内に降りていきましたが、すでに大勢のランナーがスタート地点に並んでいて割り込むことはばかられたので、一緒に走る加藤さん・佐藤さんと最後尾に陣取って5kmのスタートを見送っている間に、次の号砲が鳴って10kmの部がスタートしたのでした。運動公園を出ると早速の上り区間ですが、沿道の人たちが多く、自然とペースが上がります。

幸樹会からも何人か応援に来てくれていて、知った顔から声援を受けると、俄然やる気スイッチが入りました。

七草マラソンはアップダウンの激しさで有名ですが、下りでは順位を上げるべく重力に逆らわずにガンガン突っ込んで、上りでもなるべくペースを落とさないよう心臓バクバクになりながらも鞭打って走り続けました。ただ、スタート前全く水分を摂る事忘れてしまっていたのと、ハイペースで汗を結構かいていた事で、中盤ですでに脱水状態となり、さらに、やっとのことで5kmの給水ポイントにたどり着いたものの、給水所に置いてあったのが小さな紙コップで入っている水も50mlにも満たない量だったため、枯渇していた身体にはまるっきり足りませんでした。仕方ないです。あと5kmなんとかいりしかなないと自分に言い聞かせ、終盤、一番大きな山場の高低差30mのアップダウン往復を最後の上り坂を半泣きしながら上り終え、すでに脚が残っていない状態で、なんとかゴールを切ったのでした。

それでも、沿道の声援が本当に力になりましたし、自分の中では追い込めました。アップダウンは多くて距離も短くて、きついですが、気持ちよく楽しく走れました。

今回一緒に参加したメンバー、それぞれが自己ベスト更新だったり、初10km、初マラソンだったりそれぞれ目標を達成でき、さらに、ゴール後、みんなの、“走りきった〜!”という充実感あふれる顔を見ることができて、部長として、皆で参加できて良かったと感じた大会でした。来年は更にメンバーを増やして走りたいですね。

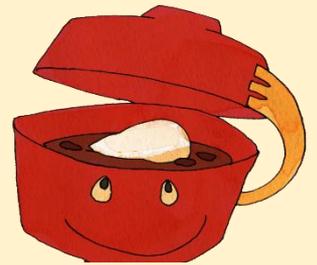
看多機さんしょう副所長 岡本健吾



## 2/21 地域交流カフェ

### お餅を食べよう

毎年2月の地域交流カフェでは餅つき大会を行っていましたが、今年は感染対策のため、さんしょうご利用者と職員だけで開催します。杵と臼の餅つきは難しいので、餅つき機を使ってお餅をついて、辛み餅・きなこ・あんこ・みたらし・ずんだ・納豆・・・など、お好みの味で召し上がっていただこうと企画しています。



お餅は飲み込みづらいという方には芋餅で、同じ味わいを楽しんでいただけるように考えています。

もしもお餅が残ってしまったら・・・冬の寒さと乾燥を生かしてかき餅を作り、揚げ餅にして二度おいしさを楽しみたいと思います。

(看多機さんしょう所長 南雲朋子)

今月の屋上太陽光発電量は、

**608KWh**

幸樹会館電力使用量 6340KWh 自給率 9.59%



## 職員募集! 非営利・働きがいある職場

### 看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり  
問い合わせ: 本部中野まで、☎047-701-7550

## 八柱学習会

○1月 12名参加

▼次回学習会予定(「定例日: 毎月第3金曜日」)

2月17日(金) 18:00~ あつまれ幸樹

「アセスメントの重要性 薬剤師の立場から」

からたち薬局薬剤師 桐山章宏

《参加自由》